



2022年度

iNARTE PS Engineer/Technician資格試験 ご案内

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター
iNARTE/Japan PS分科会
2022年4月

iNARTE資格制度と日本への導入経緯

iNARTE: International Association for Radio, Telecommunications and Electromagnetics, Inc.

1982年	NARTEは非営利の認証団体として発足 規制緩和と米国連邦通信局(FCC)の技術者養成奨励の意向を受け、 NARTEは技術者の資格認証業務を開始
1988年	US Navy(米国海軍)の要請を受け、NARTE EMC技術者資格制度を発足
1998年	NARTEとKECが業務提携し、日本国内でのNARTE技術者資格推進をKECが担い、 日本国内で日本語にてNARTE EMC資格試験を実施・導入開始
2004年	NARTEがNARTE PS(Product Safety)技術者資格制度を発足
2006年	KECが日本国内で日本語にてNARTE PS資格試験を実施・導入開始
2007年	米国外にもNARTE技術者資格を展開すべく、NARTE⇒iNARTEと名称変更
2012年	iNARTEは世界有数の個人認証団体RABQSAの傘下となり、 RABQSAは 翌2013年Exemplar Global, Inc.と名称変更
2021年	iNARTE資格試験のオンライン化に移行

2022年度 iNARTE PS Engineer/Technician資格試験

従来の会場集合型試験からコロナ禍でも場所を問わず全国から受験可能なオンライン試験へと試験形態を変更いたしました。

日 時：2022年8月26日(金) 開始時間 8:30~9:00 試験時間は4時間
募集期間：2022年4月1日(金)~7月29日(金) (詳細はKECウェブサイトに掲載)
受 験 料：16,000円(消費税込) なお、合格された方は 別途認証料 13,000円が必要です。
会 場：オンライン

iNARTE-オンライン試験を受験いただくには、スマートフォンとカメラ付きパソコンが必要です。
詳細・禁止事項につきましては、別資料「オンライン試験準備と禁止事項」ご参照ください。

<パソコン>

OS(※)	Windows 10以上 または macOS
CPU	1GHz以上
メモリ	4GB以上
ブラウザ(※)	Google Chrome/Microsoft Edge/Safari
通信速度	1Mbps以上

(※)
OS 及び
ブラウザは
最新版を推奨

<スマートフォン> 試験中電源は常時ON

OS	iOS または Android
ブラウザ	Safari/Google Chrome

<試験要領>

各問3~5者選択肢からの選択方式、解答問題数50問、合格基準70点以上

<持込可能物>

参考図書、受験者が作成したノート、関数電卓、筆記用具

※パソコンに資料を入れて閲覧することは出来ません。

<オープンブック方式と事前整理の必要性>

参考図書に制限はないが、3~5冊程度にし、索引を作っておくなど事前準備を推奨します。

《受験資格》

【 受験に必要な経験年数と資格認証に必要な経験年数表 】

卒業区分 (理工系推奨)	経験年数	エンジニア		テクニシャン	
		受験資格 経験年数 (年以上)	資格取得 経験年数 (年以上)	受験資格 経験年数 (年以上)	資格取得 経験年数 (年以上)
高等学校卒業生	3	3	9	1	6
高等専門学校(本科)、短期大学 または本会が認定した専門学校 卒業生			7		4
学士学位 取得者			5		2
修士学位以上 取得者			4		1

- 受験資格 ① Product Safety(製品安全)業務に従事していること。
 ② 受験資格経験年数として、Engineerは 3年、Technicianは 1年以上を要する。
 ③ 3人の推薦が必要。(受験申請書に推薦書が含まれている)

《出題カテゴリー》

No.	Subjects	No.	Subjects
A	Connection to supply 電源への接続	N	Equipment design 機器設計
B	Isolation of supply 電源部の絶縁	O	Hazard analysis 危険性の分析
C	Mechanical hazards 機械(物理)的危険性	P	Risk assessment 危険度の評価
D	Earthing 接地構造	Q	Design review 設計審査
E	Types of Insulation 絶縁の種類	R	Legislation US, EEC and International 国内・諸外国・国際規格
F	Protection against electrical 感電に対する保護 shock	S	Civil Electrical Safety Standards 民間電気安全規格
G	Resistance to fire 難燃性能	T	Safety tests 安全性試験
H	Fire hazards 火災の危険性	U	Assessment authorities 評価監督官庁
I	Limits on fuel 可燃物の制限	V	Competent Bodies 認証機関
J	Limits on heat 発熱の制限	W	Safety certification 安全認証
K	Insulation damage 絶縁の損傷	X	Declarations of Conformity 適合性宣言
L	Creepage and clearance 絶縁距離	Y	Operating and maintenance instructions and handbooks. 取扱説明書・マニュアル類
M	Inter system and intra system design 装置間・装置内設計		

《資格の効用》

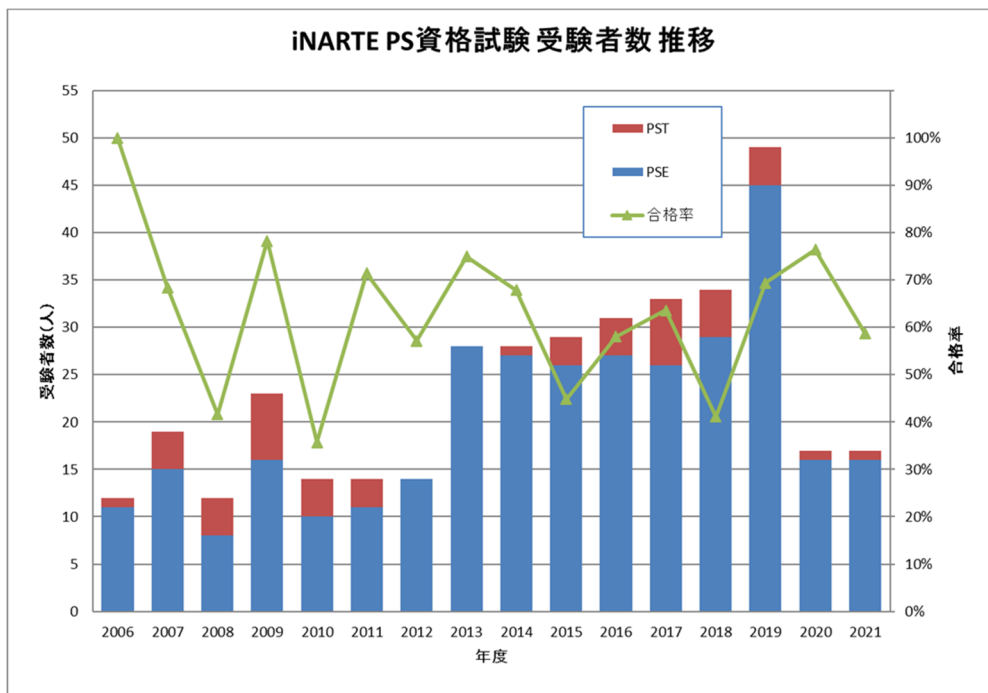
-
- 製品安全の技術知識と経験を有するとの客観的な証明となる
-
- 試験所認定を取得する場合に資格保有者の存在が求められる場合がある
-
- より高いレベルへのPS(製品安全)技術者への動機付けとなる
-

《年次更新について》

-
- 資格取得後、1年毎の更新と活動報告書の提出が必要です。
-
- 更新料: エンジニア 16,000円 テクニシャン 15,000円 (消費税込)
-

【参考】

《iNARTE PS 日本国内の受験者数・合格率の推移(第1回(2006年度)～第16回(2021年度))》



《問題例》

【問題例1】 【 出題カテゴリ： B.電源部の絶縁 】

オーディオ・ビデオ機器において、二重絶縁または強化絶縁を跨いで接続することができるブリッジコンデンサに対する以下の要求規定において()内に当てはまる正しい組み合わせはどれか？
-IEC60348-14:2005、サブクラス(a)に適合する単一のコンデンサ、
または
-IEC60348-14:2005、サブクラス(b)に適合する単一のコンデンサ、
ただし 試験サンプルの中性線 または 接地線に対する定格電圧が(c)ボルトを超えない事、
または
-IEC60348-14:2005、サブクラス(b)または(d)にそれぞれ適合し、
直列接続された2個のコンデンサ。

- (A):(a)Y2, (b)Y1, (c)100, (d)Y2
- (B):(a)Y1, (b)Y2, (c)150, (d)Y4
- (C):(a)Y1, (b)Y2, (c)250, (d)Y4
- (D):(a)Y2, (b)Y1, (c)300, (d)Y4

【問題例2】 【 出題カテゴリ： N.機器設計 】

「オーディオ・ビデオその他これに類する電気機器の安全規格(IEC60065)」では、『機器は正常使用時、若しくは故障時に 特に 次の場合に危険が生じないように設計され組み立てられていること』と定義されているが、下記の4つの内、定義に含まれていないのはどれか？

- (A):火災に対する人体の保護
- (B):加熱に対する人体の保護
- (C):感電に対する人体の保護
- (D):落雷に対する人体の保護

お問い合わせ先： 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター
iNARTE Japan PS分科会 事務局：石住 隆司
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2番地2
TEL: 0774-29-9041 E-mail: narte-safty01@kec.jp

お申込みはこちら

https://www.kec.jp/seminar/narte_ps22/